

特定領域研究「セム系部族社会の形成」

## 若手研究者研究成果発表会

# 「ガーネム・アリとその周辺」

特定領域研究「セム系部族社会の形成」(領域代表者: 大沼克彦・国士舘大学教授)では、このたび西アジア考古学および関係する分野における新進気鋭の若手研究者の研究成果発表会を、下記の要領にて開催することになりました。当日は、平成21年度第1回研究会も合わせて開催いたしますので、ご参集ください。(佐藤宏之)

日時: 2009年4月18日(土) 10:00~15:20

場所: 池袋サンシャイン・文化会館5階集会室(502号室)

### 〈プログラム〉

- 10:00 開会の挨拶
1. 10:10-10:40 「ガーネム・アリ遺跡の出土植物」  
赤司千恵(早稲田大学大学院文学研究科・博士後期課程)
2. 10:40-11:10 「ユーフラテス河中流域における先史遺跡の調査」  
門脇誠二(東京大学総合研究博物館・学振特別研究員PD)
3. 11:10-11:40 「紀元前3千年紀、シリア、ユーフラテス川流域の埋葬習慣」  
久米正吾(国士舘大学イラク古代文化研究所・共同研究員)
4. 11:40-12:10 「テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の発掘調査-人物形土製品をめぐって」  
長谷川敦章(筑波大学大学院人文社会科学研究所・博士課程)
- 12:10-13:00 **昼食休憩**
5. 13:00-13:30 「ビシュリ山系北麓ケルン墓群の第四次発掘調査」  
鈴木香枝(金沢大学大学院人文社会環境研究科・博士課程前期)
6. 13:30-14:00 「牧と農 - ガーネム・アル=アリー周辺部族の遊牧史と生活変容」  
高尾賢一郎(同志社大学大学院神学研究科・博士後期課程)
7. 14:00-14:30 「エブラ文書に見られるマルトゥ国」  
堀岡晴美(国士舘大学大学院グローバルアジア研究科・博士課程)
- 14:30-14:40 **休憩**
8. 14:40-15:20 総合討論(司会・常木 晃)

\* 発表時間25分、質疑応答5分

なお、引き続き15:30より、研究会を開催いたします。

特定領域研究「セム系部族社会の形成」

## 平成 21 年度 第 1 回研究会

### 「19-20 世紀のビシュリ山系周辺の遊牧民」

特定領域研究「セム系部族社会の形成」(領域代表者:大沼克彦・国士舘大学教授)の平成 21 年度第 1 回研究会を、以下の要領でおこないます。当日は、研究会に先立ち当特定領域研究に関連する若手研究者の研究成果発表会も合わせて開催いたしますので、ぜひご参集ください。(常木 晃)

日時: 2009 年 4 月 18 日(土) 15:30~17:00

場所: 池袋サンシャイン・文化会館 5 階集会室 (502 号室)

講師: 赤堀雅幸 (上智大学外国語学部教授)

黒木英充 (東京外国語大学アジア・アフリカ  
言語文化研究所教授)